

トイレ修理で思わぬ高額請求～事前に必ず見積もりを～

【相談事例】

トイレが詰まり、電話帳で見つけた業者に電話をして来てもらった。急いでいたので料金などは電話で確認しなかった。業者にトイレを見てもらうと、便器を交換するしかないと言われ、思わぬ高額な便器代を仕方なく支払った。後から、本当に便器交換が必要だったのか疑問に思った。

【アドバイス】

- ①困っているときは、誰でも慌ててしまいがちです。それでも電話するときはメモの用意をして、作業内容や金額を聞き取りましょう。出来れば複数の業者に見積もりを取るとよいでしょう。
- ②「出張無料」という広告の下の方に小さな文字で「現地まで出向いてからキャンセルの場合は実費を頂きます」などと表示している事業者がいます。事前に出

張や見積もり費用を聞きましょう。

③現場の状況次第では、追加の修理が必要な場合があります。説明に納得できない場合は、その場で契約しないようにしましょう。

④日頃から安心して任せられる事業者の情報を集めておけば、いざというときに慌てないですみます。水漏れの場合は、自宅の止水栓の位置と締め方を確認しておくといよいでしょう。

困ったときは早めに相談してください。

【問】柳川・みやま消費生活センター（市役所大和庁舎1階商工・ブランド振興課内、午前9時～午後4時30分、☎76・1004）



刈払機（草刈機）による事故に注意

【事例1】

刈払機のエンジンを切らずに挟まった草を取ろうとしたところ、誤って刈払機に手を巻き込まれた

【事例2】

刈払機で草刈り中、石が飛んで目に当たった

【事例3】

刈払機で草刈りしている人に近づいたら、刃が当たってけがをした

【アドバイス】

消費者庁には医療機関などから事例のような重大事故の情報が寄せられています。このような事故は5月、7月、8月に多く発生。刈払機を使うときは、以下に注意して使用しましょう。

- ①使用前に取扱説明書を読む
- ②長袖や長ズボン、ヘルメット、保護メガネなどを着

用する

③使用前に刈刃や飛散保護カバー、ハンドルなど、各部の点検をする

④作業前に地面の石などを取り除いて、15メートル以内に人がいないことを確認する

⑤刈刃が地面などに当たって跳ね返る“キックバック”に注意する

⑥刈刃に挟まった草や異物を取り除くときは、必ずエンジンを切る

⑦販売店などが実施する使用講習会を受講する

【問】柳川・みやま消費生活センター（市役所大和庁舎1階商工・ブランド振興課内、午前9時～午後4時30分、☎76・1004）

